



サービス経営人材育成プログラムの継続状況

サービス学会主催
オンライン・シンポジウム
2020/7/15

目的

経済産業省のサービス経営人材育成プログラムは、2015年(H27)始まり数多くの活動を通して大学の教育能力の向上に大きな成果を残しました。

こうした補助事業は、補助の終了後に自律的な展開を望まれているが、実際には補助事業の終了後に活動が終わり、継続性について課題となっています。今回のシンポジウムでは、補助事業を元にしてその後の発展や持続的な活動に必要な問題点などを議論すること目的としています。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に見舞われている数多くのサービス業の回復に資する様な施策についても議論したいと思います。

参加大学 コメンテーター

- プレゼンテーション&パネリスト

- 弘前大学

- 森樹男教授

- 京都大学

- 原良憲教授

- 中村学園大学

- 太田英明名誉教授

コメンテーター

松井サービスコンサルティング

松井拓己氏

経済産業省サービス政策課課長

浅野大介氏

- プレゼンテーション&司会

- 関西学院大学

- 山本昭二教授

参加者

サービス学会会員と参加大学の関係者

中村学園大学

外食

弘前大学

地域振興

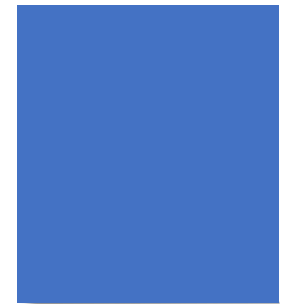
京都大学

ホスピタリティ

関西学院大学

地域医療

様々な業種に対応・継続活動





継続状況

- 各プログラムの継続状況を聞くことでどの様なやり方があるのかを理解する。
- 継続における積極的な要素や問題などを理解する。

効果性

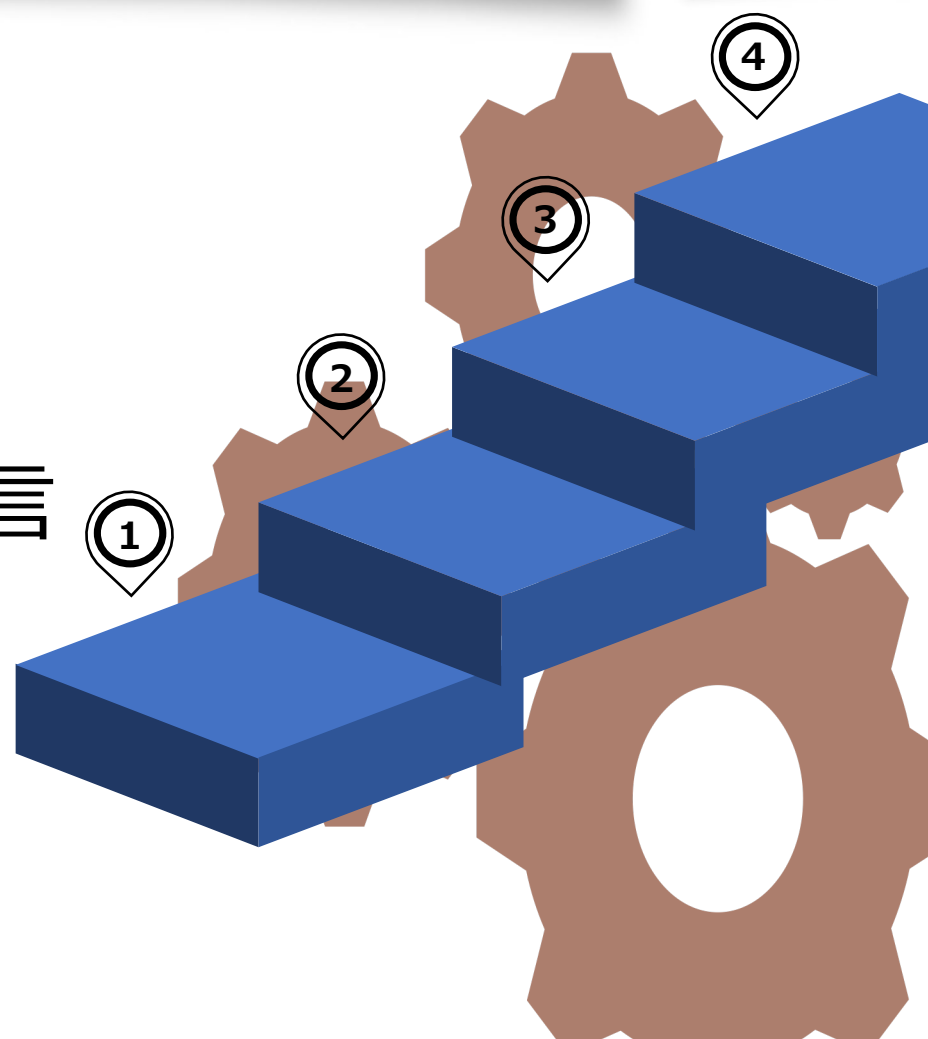
- 教育効果、社会連携など大学としての効果を理解する。
- 大学の教育体制や教員への効果を検証
- 地域社会への効果

意義

- 実施結果の意義をどの様に浸透できるか
- 次のプロジェクトに進むものかどうか

新たなステップへの提言

- 教育内容の革新
- 新たなテーマの検討
- 自治体や国への提言
- 補助事業のあり方



式次第（案）

7月15日 10時開始

司会 山本昭二（関西学院大学）

開会の挨拶 サービス学会会長 原良憲

各校プレゼンテーション（各7分）

弘前大学、京都大学、中村学園大学、関西学院大学

プレゼンテーションへのコメント（各7分）

松井拓己氏、浅野大介課長

パネルディスカッション（35分）

パネリスト 森樹男、原良憲、太田英明、松井拓己、浅野大介

閉会の挨拶

コロナウィルスの感染拡大への対応 パネルディスカッションでのテーマとして取り上げる



オンラインでの講義の進展

苦境に立つ産業への対応

新たな教育体制への移行